の 0.46% であり、これにその他の小島嶼国連合加盟国を合わせた CO2 排出量の合計は世界全体の排出量の 1.1% を占めるのみである(表-2.3)。

- 特に深刻な影響を受けると考えられるのは、途上国の脆弱な地域に住む人々である。 これらの人々にとっては、気候変動による影響のリスクは、大量排出国の排出量にか かっており、自ら管理できないリスクであるという点が特徴である。影響が受け入れ 可能かどうかを判断するのは原因をなしている大量排出国ではなくて、専ら影響を受 ける国であるが、これらの国や人々の声は国際合意を形成する上で適切に反映されて いない点に、気候変動対策における地球規模のシステム形成の難しさがある。この点 は、地球公共財をどうやって形成していくかということにもつながる。
- 地球的規模での相互依存関係が進行している現在では、気候変動の原因国も影響を受ける。例えば、日本の場合、食糧自給率が低いため、他の国が気候変動による影響を農業分野で受けると、間接的に極めて大きな影響を受けることになる。世界貿易の発展とその自由化の流れの中で、各国の相互依存性は一層深まりつつあり、食糧安全保障といった面でも気候変動の影響は重要になってきている。また、温室効果ガスの大排出国であるとともに影響に対する適応対策が十分でない地域を抱える中国やインドにおいても、ひとたび異常気象に見舞われれば大きな被害が生じる。

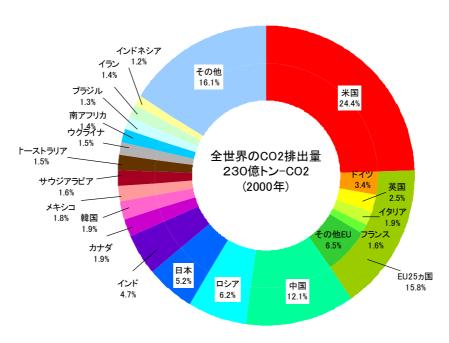


図-2.2 全世界の CO2 排出量の内訳 (国別)

EU+15ヵ国(計40ヵ国) で世界全体の排出量の 84%を占める

(出典) 米国オークリッジ研究所

表-2.2 002排出量の大きい国

		排出量(百万	排出割合	一人当たり排出
		トンC02)		量(トンC02/人)
1	米国	5, 605	24. 4%	19.86
2	EU25ヵ国	3, 644	15.8%	8.06
	ドイツ	786	3.4%	9. 57
	英国	568	2.5%	9.50
	イタリア	428	1. 9%	7.41
	フランス	362	1.6%	6. 16
	その他のEU	1, 500	6. 5%	7. 75
3	中国	2, 792	12. 1%	2.20
4	ロシア	1, 436	6. 2%	9.86
5	日本	1, 185	5. 2%	9.35
6	インド	1,071	4. 7%	1.06
7	カナダ	436	1. 9%	14. 19
8	韓国	427	1.9%	9.06
9	メキシコ	424	1.8%	4. 36
10	サウジアラビア	374	1.6%	17. 49
11	オーストラリア	345	1.5%	18.00
12	ウクライナ	343	1.5%	6. 93
13	南アフリカ	327	1.4%	7.48
14	ブラジル	307	1.3%	1.83
15	イラン	310	1.4%	4.88
16	インドネシア	269	1.2%	1. 28
	その他	3, 706	16. 1%	
	世界全体	23, 001	100.0%	3.80

(出典) 米国オークリッジ研究所

表-2.3 気候変動による影響に脆弱な国

気値	変動による影響に脆弱な国の種類	後発開発途上国(48ヵ国)		
(1)	島嶼国	(アフリカ) アンゴラ	タンザニア	
		ベナン	ザンビア	
(2)	低地の沿岸地域を有する国	ブルキナファソ	リベリア	
(-/	Maria / II// Page 1, / GE	ブルンジ	, , ,	
		中央アフリカ		
(3)	乾燥地域、半乾燥地域、森林地域	チャド	(アジア)	
	又は森林の衰退のおそれのある	コンゴ	アフガニスタン	
	地域を有する国	ジブチ	バングラデシュ	
		赤道ギニア	ブータン	
		エリトリア	カンボジア	
(4)	自然災害が起こりやすい地域を	エチオピア	ラオス	
	有する国	ガンビア	ミャンマー	
		ギニア	ネパール	
(-)		ギニアビサウ	イエメン	
(5)	干ばつ又は砂漠化のおそれのある	レソト		
	地域を有する国	マダガスカル	(+ + + -)	
		マラウィ	(島嶼国)	
(c)	拠まの七月海池等しい地域と	マリ	カーボベルデ	
(6)	都市の大気汚染が著しい地域を 有する国	モーリタニア	コモロ	
	有9つ国	モザンビーク ニジェール	ハイチ キリバス	
		ルワンダ	モルディブ	
(7)	脆弱な生態系(山岳の生態系を	セネガル	サモア	
(1)	含む)を有する地域を有する国	シェラレオネ	サントメ=プリンシペ	
		スーダン	ソロモン諸島	
		トーゴ	ツバル	
		ウガンダ	バヌアツ	
			連合加盟国(23 ヵ国)	
		アンティグア・バーブ ーダ	ミクロネシア	
		バハマ	パラオ	
		バルバドス	パプアニューギニア	
		ベリーズ	セントキッツ・ネビス	
		キューバ	セントルシア	
		ドミニカ	セントビンセント及び	
		フィジー	グレナディーン諸島	
		グレナダ	セーシェル	
		ガイアナ	シンガポール	
		ジャマイカ	スリナム	
		マーシャル諸島	トンガ	
		モーリシャス	トリニダード・トバゴ	

- ・ どの後発途上国も気候変動による影響に脆弱な国のいずれかに該当する。これらの後発途上国(計 48 ヵ国)の CO2 排出量の合計は、1億 471 万トン CO2 (世界全体の排出量の 0.46%)
- ・ 後発途上国とその他の小島嶼国連合加盟国の CO2 排出量の合計は、2 億 4729 万トン CO2 (世界全体の排出量の 1.1%)
- ・ 上記の計算は米国オークリッジ研究所のデータを用いて計算